

早稲田大学整数論セミナーの予定 (2014年度 第7回)

日時：2014年5月30日（金）16:30～18:00

場所：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
早稲田大学西早稲田キャンパス（旧・大久保キャンパス）
61号館4階413室（61-413）

講演者：見正 秀彦（東京電機大学）

タイトル：ゼータ関数の普遍性 - その概要と最近の発展について

アブストラクト：普遍性とは複素関数が持つ病的な解析的性質の1つである。この性質の存在は古くから知られていたが、既知の関数に対し確認されたのは1975年、Voroninの普遍性定理においてである。その主張は、任意の正則関数はリーマン・ゼータ関数の垂直方向への平行移動によりコンパクト一様近似できる、というものである。本講演の前半では、普遍性定理の証明の概要を解説する。後半では、最近の普遍性研究の諸結果を紹介する。特に複数のゼータ関数に対し成立する同時普遍性について、詳しく紹介する予定である。